

日	曜	月の行事予定	時程変更
1	土	元旦 冬季休業	
2	日		
3	月		
4	火		
5	水		
6	木		
7	金	冬休み明け朝会	12:20
8	土	サタスク	
9	日		
10	月	成人の日	
11	火	給食開始 3年人権学習	
12	水	なかよしデー発育測定(5、6年)	
13	木	発育測定(1、2年) ハーモニー練習日	
14	金	発育測定(3、4年) 教育相談(午後)	
15	土		
16	日		
17	月	朝会 委員会見学ウィーク 校内書き初め展(27日まで) 発育測定(5組、欠席者)	
18	火	副班長会議 4年スマホ携帯安全教室	
19	水	集会(高)	
20	木	読み聞かせ(1年、2年) ハーモニー練習日	
21	金	議案説明会 峰幸代選手来校 引き渡し訓練	
22	土	サタスク	
23	日		
24	月	音楽朝会 副班長会議 4年人権学習 3年クラブ見学 給食週間	
25	火		
26	水	区一斉授業研のため4時間授業	13:15
27	木	なかよし活動 代表委員会 ハーモニー練習日	
28	金	副班長会議 教育相談(午前) 研究会のため5時間授業	14:40
29	土		
30	日		
31	月	委員会(反省)	

### ◆ 校内書き初め展 ◆

1年の始めにあたって新たな気持ちで書いた書き初めを、各教室の廊下に展示します。保護者の方も健康状態を確認の上、鑑賞してください。

期間：1月17日(月)～27日(木)

時間：9時～16時

### 1月のめあて

生活：寒さに負けず体をきたえよう  
 保健：外で元気に遊ぼう  
 給食：感謝の気持ちをもって食事をしよう

### ◆ なわとびぐんぐんタイム ◆

全市で取り組んでいる「体力向上一校一実践運動」を受け、本校でも「なわとびぐんぐんタイム」に取り組みます。1月12日からなわとびを通して体力アップを図ります。なわとびカードをもとに一人ひとりがめあてをもち、根気強く挑戦して、体力の向上や自己有用感を高めていってほしいと思います。

中休み 10:35～10:45

火曜日 1、3、6年生

木曜日 2、4、5年生

### ◆ 引き渡し訓練について ◆

延期になっていた引き渡し訓練を21日(金)に行います。校舎内の密集を防ぐためコースごとに時間差をつけての引き渡しになります。各コース10分間隔となっております。時間内での引き渡しにご協力ください。詳細は12月に配付した資料でご確認ください。当日は児童緊急連絡票の「非常災害時における引き取り人届け出票」に記載をしてある方のみが引き渡し可能となります。記載されていない方には引き渡しできません。ご注意ください。




### ◆ 峰幸代選手来校 ◆

本校出身である東京オリンピック女子ソフトボール金メダリストの峰幸代選手が21日(金)に来校します。メダリストから直接お話をうかがえる貴重な機会です。当日は金メダルも持参して下さるそうです。子どもたちにとって有意義な時間になることを期待しています。会場の都合上保護者の方の参観はご遠慮ください。

### ◆ 就学援助の申請 ◆

令和3年度の就学援助申請は教育委員会で2月末まで受け付けております。学校へは2月22日(火)までにご提出ください。就学援助制度のお知らせ、申請書は学校にご置きます。申請を希望される方はお問い合わせください。

TEL: 045-953-4737 事務室 瀬戸

学校だより

http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamishirane/

令和4年1月7日  
横浜市立上白根小学校  
【1月号】

## 非認知能力を育てよう

校長 山崎 由美

新しい年が明けました。保護者、地域の皆様におかれましては清々しく新年をお迎えのことと存じます。また、旧年中は本校の教育活動へのご理解・ご協力をいただきありがとうございました。本年も変わらぬご支援をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

昨年12月に第2回学校運営協議会を開催しました。その中で、テストで数値化できる「認知能力」については伸びているのですが、テストでは数値化が難しい「非認知能力」の伸び、特に「自己肯定感」が低いままであることとお話ししました。協議会の中で、小さなことでも褒めることやその子の得意なことを伸び伸びとさせることなど大人のかかわり方についての意見が多く出されました。学力を伸ばすことはもちろん大事だけれども子どもたちが自信をもって自分の人生を生きていくための心の力をつけることはさらに大切なことであると改めて思いました。

2000年にノーベル経済学賞を受賞したジェームス・J・ヘックマンは幼児期から「非認知能力」を身に付けることが大人になってからの幸せな生活や経済的な安定につながると言っています。「非認知能力」とはコミュニケーション能力や思いやり・共感性・忍耐力・自制心・意欲や向上心などのことで、EQ(心の知能指数)とも言われています。

確かにこのような能力は社会に出た時に一番大切にすることです。大人になると〇か×かというはっきりした答えを出す場面ばかりではなく、人とコミュニケーションをとったり共感したりしながら答えを選択して生きていくことが多くなります。正しい答えを見つけることしかできなければ、それができなかった時に困惑します。うまくいかなかった時に、そこから原因を突き止め粘り強くやり直すこと、そんな力があれば自然とテストで計れる「認知能力」も伸びていきます。「認知能力」と「非認知能力」とは決して対極にあるものではなく互いにかかわりあっているものです。

ややもすると私たち大人は、目先の結果にとらわれてしまい、子どもたちの小さな変化や努力を見逃してしまうことがあります。しかし、そこに至るプロセスを認めていくことや子どもの存在そのものを周りの大人が大切にすることで、意識しないと育てていくことが難しい「非認知能力」を伸ばしていくことができるのです。逆に言うと大人のかかわり方次第で、学校・家庭・地域も含めて子どもたちが生活する全体で育てることができるということです。今年は、子どもたちを“褒め”て“認め”て自信がもてるように三位一体となっていきたいと思えます。子どもたちへの小さな声かけをよろしくお願いいたします。

コロナウィルスの感染者が少しずつ増加の傾向にあります。年明けの様々な学校行事に影響することも考えられます。今年もご理解・ご協力をお願いいたします。